

「Oracle Cloud EPM Planning」導入事例

導入目的

- ① 損益分析や経営層への迅速な報告体制を、システムを活用することで実現したい。
- ② 手作業となっている予算・予測・実績データの収集、集計、加工、配賦計算業務をシステム化する事で、転記ミスや集計ミスを削減し、作業時間を短縮したい。
- ③ 会計データ、受注・売上データ、原価データなどの一元管理を実現したい。

採用の背景/課題

- ① 迅速・適切な意思決定を十分にサポートできていない。
 - 手作業や都度調整が多いため、迅速に関係者に情報提供できていない。
また、損益分析や経営層含む関係者へのフィードバックにも多くの時間を費やせていない。
 - エクセルでの運用に限界があるため、本当に必要なデータが取れていない。
(例) インダストリー別の受注高、売上高や台数情報など
 - 将来的に要件が高度化した際にExcel依存の仕組みだと対応していくことが困難
- ② 膨大な作業工数
 - 予算編成・予実管理において、データ収集、集計、加工、配賦計算が全て手集計であるため、多くの時間がかかる。
 - 頻繁に行われる組織変更などにより、予実対比や過年度比較、また製品別、インダストリー別、部門別など多様な切り口でのレポート作成に時間をかける事ができていない。
- ③ データ品質

以下などの理由により、報告データに間違いが発生するリスクがある。

 - 実績データの収集は、担当者や時期によりデータ精度の違いがあるなど標準化されていない。
 - 会計や売上、原価など予算管理上必要なデータが一か所に集約されていない。

- ABC ベースのデータの調整に時間がかかる。
-

用途/導入範囲

- 事業部 PL 予算、予実管理（単体・連結）
-

採用のポイント

以下をはじめとする多数のシステム要件のすべてを満たすクラウドサービスであったため。

- ユーザビリティ
 - システムの操作性がよく、業務部門で各種計算、フォーム作成、レポート作成・自由分析が最も容易であること
 - 利用者に応じてメニューやセキュリティレベルを変えることができること
 - ワークフローなどが充実していること
 - Excel、pdf、PowerPoint などとの連携が可能であること
 - 変化への適用力
 - 業務要件の変更時、組織や製品カテゴリの変更などが発生した際に、柔軟にシステムを変化させていけること
 - グローバル対応
 - 為替によるシミュレーションや、多言語対応が可能
 - システムの安定性
 - バックアップが万全であること、障害時のサポート体制、セキュリティ面やパフォーマンス面での安心感があること
 - その他
 - 月次、四半期でのローリングフォーキャスト対応が可能であること
 - SAP や AS/400 等の既存システム、手動入力含む複数のデータソースから、データをマッピングし取込できること
 - データ不整合時に調節や追跡が行えること
-

導入効果

- 予算・予測作成時の集計・レポート作業が大幅に短縮され、現部門での検討の時間が増えた。
- データの一元管理が進んだことで、より正確な情報を経営層へ報告できるようになった。

- ダッシュボード等を使う事で、視覚的な資料も作成できるようになった。

今後の予定

- 海外拠点との簡易連結
- インダストリー別の見通し管理の強化
- 全部原価計算や直接原価計算を差異調整含めひとつのインフラで管理

お客様の声

「Oracle EPM Cloudを導入したことで、手作業となっていた予算・予測・実績データの収集、集計、加工、配賦計算業務をシステム化でき、作業時間を30%程度短縮できました。また、データの一元管理が進んだことで、経営層の求める情報を迅速に報告できるようになりました。」

日機装株式会社 インダストリアル事業本部 営業統括部 管理グループ 稲場 俊夫氏

お問い合わせ 以下のフォームまたはお電話でご相談ください。

フォームはこちら ▶ http://faq.oracle.co.jp/app/ask/referer_id/mk

お電話はこちら ▶ **0120-155-096** ※月～金 9:00～12:00 / 13:00～18:00（祝日及び年末年始休業日を除きます）

Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

This device has not been authorized as required by the rules of the Federal Communications Commission. This device is not, and may not be, offered for sale or lease, or sold or leased, until authorization is obtained.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group. 0120

Disclaimer: This document is for informational purposes. It is not a commitment to deliver any material, code, or functionality, and should not be relied upon in making purchasing decisions. The development, release, timing, and pricing of any features or functionality described in this document may change and remains at the sole discretion of Oracle Corporation.